

第2回

令和6年11月17日(日)

教師未来塾

～学ぼうスキル高めよう資質・能力 いざ千葉の先生へ～



テーマは「学力向上」と「学級づくり」

11月17日(日)に今年度2回目の教師未来塾が行われました。50名の受講生の皆さんは、初回よりもお互いに打解けた様子が見られました。そんな中、実践的な内容を話し合う際には熱心な意見交換がされていました。今回の研修内容や受講した学生の皆さんの感想を紹介します。

1 講話「学力向上について」

県HPに掲載されている「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」を参考に、授業デザインや授業改善への役立て方を学びました。

「活動あって学びなし」とならないように、しっかり目的を持って活動させたいと思いました。また、生徒にどんな力を身につけさせたいのかを考えて授業していきたいと思います。

実践モデルプログラムを詳しく学んだことにより、何を意識すればいいのかが明確にすることができ、さらには理想の授業の具体を知ることができて良かったです。

教育実習等で、授業を展開していく際には、「見通しをもち、個人で考えた意見を、話し合いによって学びを深め、授業で何を学んだかの確認できるようにする」という授業全体の展開を意識したいと思います。



2 講話・演習「学級づくりのポイント」

「児童生徒理解」と「学級内での信頼関係づくり」について、大切なポイントを理解しつつ、よりよい学級をイメージできるよう講話・演習が行われました。

より具体的な実践や、生徒と接する上で大切なことを学べたので、今回学んだことを活かして今後もより良い教師になれるよう試行錯誤していきたいと思いました。

生徒との人間関係づくりについて学び、話は最後までしっかり聞くこと、指導は納得感が得られるように配慮して行うことが重要であるという2つが印象に残りました。

生徒を理解するために必要なことを学ぶことができました。生徒と関わる際は自分の意見を押しつけるのではなく、信頼関係を構築するために、互いにコミュニケーションをとれるよう心掛けていきたいと考えました。

